

常盤中学校コミュニティスクールだより

No. 2

令和5年度の第2回学校運営協議会が、10月31日（火）11時50分から常盤中学校の第1会議室にて行われました。今年度も生徒会本部役員の新メンバーが参加して、今年度のテーマである「あいさつについて ～コミュニケーション力の育成～」について、学校運営協議会委員の方々と一緒に考えました。

《 参加者 》

〈学校運営協議会委員〉

会長 栗原 勝義
副会長 佐藤 好子
志水 正
柴崎 八重
佐藤 マミ
近藤 一幸
大庭 裕信
菊地 耕太郎
斎藤 光人
山本 夕紀
輿石 純美
玉崎 芳行
吉田 賀一

〈常盤中〉

長井 紀之（教頭）
正田 真由美（教頭）
鳥居 孝輔（教務主任）
滝澤 久美子（1学年主任）
比嘉 礼央奈（2学年生徒会担当）
勝嶋 翔大（3学年生徒会担当）
生徒会長
生徒会副会長
生徒会副会長
生徒会書記
生徒会書記
生徒会書記
生徒会役員



学校運営協議会の様子

はじめに取組実践の中間報告について、生徒会の新本部役員を代表して、昨年度から生徒会で活動していた生徒会会長に常盤中学校のあいさつの現状と昨年度と比較して良い点、改善点等を発表した。

また、各グループで、第1回目以降から現在までの「あいさつ」についての実践内容をそれぞれの立場で発表しあった。

熟議の時間では、1つ目に「今後、取り組む具体的な実践内容」について、「学校」、「家庭」、「地域」それぞれの立場で考え、「いつ」「どこで」「誰が」「どんな内容ができるか」など各グループで話し合ったことを発表した。

2つ目に「今年度の学校の運営全般」について校長より報告した。その後、内容について質疑応答を行ったが、特に意見はなかった。

熟議全体の意見や感想として、以下の3点があがった。

- ① 地域の方々が生徒と一緒に話し合えたのは、よかった。ここで出た意見を生徒会としても話し合い、今後、取り組んでいきたいと思う。
- ② 小学校との連携については、特に常盤北小学校とは距離が近いので、これからも「あいさつ運動」など積極的に進めていってほしい。中学生と一緒に話し合うことができよかった。今日、話し合われたこと内容を生徒会から発信して、常盤中学校の生徒全体に広めていってほしい。
- ③ 第3回学校運営協議会までに、第2回学校運営協議会の意見等を含め、具体的に取組をしていく。その後、全体を通して、意見の申出について図ったが特に意見は出なかった。

各グループの意見

グループ1

- 家庭：・すれ違いの家庭もふえているが、顔が会う場面で当たり前のあいさつをしていく。
・大人から示していく。

- 学校**：・あいさつ運動。小中連携から中1の挨拶が多くなったので続けていく。
 ・運営協議会の会議を受けて、生徒会本部役員が朝礼等で発表していく。
- 地域**：・地域行事に参加していく。
 ・地域から積極的に呼びかけていく。

グループ2

- 家庭**：家庭でのあいさつを継続していく。
- 学校**：「なぜ あいさつをするのだろう」をテーマに
 ・クラスや朝会で考えをもらう機会を持つ
 ・授業での号令をしっかりとる
 ・部活動でのあいさつをしっかりとる
- 地域**：・横断歩道でのあいさつ
 ・会社内でのあいさつ



グループ3

- 家庭**：家族の中でもきちんとあいさつ
- 学校**：先生からあいさつを行い、生徒のあいさつを促す
- 地域**：学校でポスターを作るなどして通学路等に貼ってもらう

グループ4

- 家庭**：・家族同士でも、おはよう～おやすみまで、言うように心がける
 ・SNSなどのツールを上手に利用して、遠距離の家族とコミュニケーションを図る
- 学校**：・人の前にたつ立場の人から積極的に実践していく
 ・あいさつによる嬉しいときなどの様子を聞ける機会を作る
 ・あいさつ運動のやり方の改善
 ・何故、やるのか考え、コミュニケーションの必要性も考える
- 地域**：・地域のイベントになどに積極的に参加していく（呼びかける）
 ・新しくイベントを作っていく



グループ5

- 家庭**：あいさつの意味について考える
- 学校**：あいさつ意味について考える（アフター コロナをふまえて）
- 地域**：あいさつの意味について考える

本日のまとめ

副会長より、「あいさつの意味」や「何故、やるのか考え、コミュニケーションの必要性も考える」という意見を聞いて、改めて意味から考えることが大切なのかと思いました。今後も、それぞれの立場で実践していけたらと思います。

